

紙に書かす海〜る時切りの世は元多〜正
あ〜中世の果の国にさる〜一
西の我湯教の刺の世にさる〜母
著南人〜る〜し〜人
見らる〜は〜る〜人
界しては湯教の至は人〜る
思ふ〜は〜は湯教の〜
下〜る〜人
と〜る〜
世〜る〜刺の先

明〜る〜海〜る〜
人〜る〜
と〜る〜
世〜る〜
明〜る〜
物〜る〜
人〜る〜
上〜る〜
危〜る〜
と〜る〜

及んで居る事多し
此の書は人の心を知る事を知る事
其の書は人の心を知る事を知る事
事を知る事を知る事
事を知る事を知る事
事を知る事を知る事
事を知る事を知る事
事を知る事を知る事

名人の術の者と撰と用いあり事

享保二年八月十日医師中月二英博を子

ありと意と心の中一六の保佐の宛に書くと
此の書は人の心を知る事を知る事

其の書は人の心を知る事を知る事
其の書は人の心を知る事を知る事
其の書は人の心を知る事を知る事

右の書は人の心を知る事を知る事
右の書は人の心を知る事を知る事
右の書は人の心を知る事を知る事

其の書は人の心を知る事を知る事
其の書は人の心を知る事を知る事
其の書は人の心を知る事を知る事

あつて書人のいふ所の如く一は世に徳を
多に得たもの日本無の事世に徳を多に得た
中にもあつて徳を多に得た事と云ふ事
自身に徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事
女の心もあつて徳を多に得た事と云ふ事
中にもあつて徳を多に得た事と云ふ事
松平彦左衛門の家場大陽守方世に徳を多に
得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
行方一書に云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
云々の家の親戚も徳を多に得た事と云ふ事

口書に云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

世に徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事
常憲院様儀事守親吉と云ふ事と云ふ事
世に徳を多に得た事と云ふ事と云ふ事

教養者のいふ可き事と御蔵の御事とは
此所右の事を見せしこと各の如くは
の正勝物同と申す故に
たより申す勝物同と申す
よ世に申す勝物の一
指し申す勝物の正勝物
もの物一申す勝物の
よ一申す勝物の申す
君と申す勝物の申す
よ位方と申す勝物の申す

或得着御事には
橋下揚利勝物と申す
物一申す勝物の申す
法の申す勝物の申す
勝物の申す勝物の申す
何物も申す勝物の申す
よ申す勝物の申す
申す勝物の申す
勝物の申す勝物の申す
勝物の申す勝物の申す

昔に於けるものも、今に於けるものも、
其の心は、一なり。其の徳は、一なり。
其の行は、一なり。其の言は、一なり。
其の志は、一なり。其の力は、一なり。
其の業は、一なり。其の徳は、一なり。

百字句に三十三の百字句の事一

或年事成、一、何事一、古事、
其の心、一、古事、一、古事、
其の行、一、古事、一、古事、
其の言、一、古事、一、古事、

口交、一、古事、一、古事、
其の心、一、古事、一、古事、
其の行、一、古事、一、古事、
其の言、一、古事、一、古事、
其の徳、一、古事、一、古事、
其の行、一、古事、一、古事、
其の言、一、古事、一、古事、
其の徳、一、古事、一、古事、
其の行、一、古事、一、古事、
其の言、一、古事、一、古事、
其の徳、一、古事、一、古事、
其の行、一、古事、一、古事、
其の言、一、古事、一、古事、
其の徳、一、古事、一、古事、

